

令和8年3月16日

脳科学者・中野信子 × 美術家・島袋道浩 トークイベントを開催します

脳科学者の中野信子氏と美術家の島袋道浩氏が「わからないアート」の楽しみ方や、人々が生きていく中でアートが果たす役割や重要性について語るトークイベントを開催します。

1 日時

3月23日(月)18時～19時30分（受付17時30分～）

2 場所

岡山国際交流センター 2F 国際会議場(北区奉還町)

3 内容

テーマ:「わからない」を楽しむ — 生きていくためのアート

脳科学者の中野信子氏と美術家の島袋道浩氏が「わからないアート」の楽しみ方や、人々が生きていく中でアートが果たす役割や重要性について語ります。なお、当イベントは岡山芸術交流連携プログラムとして開催します。

登壇者: 中野 信子(脳科学者・評論家・医学博士)

島袋 道浩(美術家/岡山芸術交流 2025 アーティスティック・トランスレーター)

対象: 市内在住の方、または市内在勤、在学等の方

※小学生・中学生は保護者同伴でお願いします。

(未就学児のご参加はご遠慮ください。)

定員: 200名(申込先着順)

申し込み: 右記申し込みフォームから登録。

※定員になり次第、受付を終了します。



参加費: 無料

4 取材について

取材を希望される方は、3月19日(木)17時までに、社名・来訪予定人数を、お電話でお知らせください。

5 登壇者の紹介

中野 信子(なかの のぶこ) | 脳科学者・評論家・医学博士

1975年 東京都出身。東京大学工学部応用化学科を卒業後、同大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻博士課程を修了。現在、東日本国際大学教授、京都芸術大学客員教授を務める。

脳科学を専門とし、人間の感情や意思決定、社会的行動に関する知見を、研究・執筆・メディア出演などを通じて幅広く発信してきた。近年は科学と芸術の接点に関心を深め、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程にて科学とアートの関係性を研究し、2023年に修了。

2022年以降は、脳波などの生体データを用いた表現や展示の可能性にも取り組み、展覧会の企画・キュレーションを通じて、知覚や創造性を横断的に問い直す実践を展開している。



島袋 道浩(しまぶく みちひろ) | 美術家

1969年神戸市出身。現在は那覇市を拠点に世界各地で活動。

1992年サン・フランシスコ美術大学卒業。在学中より国内外の多くの場所を旅し、その場所やそこに生きる人々の生活や文化、新しいコミュニケーションのあり方に関する映像、彫刻、インスタレーション作品などを制作。その作品は時に生き物と人間との関係にも及ぶ。詩情とユーモアに溢れながらもメタフォリカルに人々を触発するような作風は世界的な評価を得ている。

ドイツ・ブラウンシュワイグ芸術大学HBK客員教授、チューリッヒ芸術大学ZHdK客員講師などを歴任。現在、京都芸術大学客員教授。

岡山芸術交流 2025 では新設されたアーティストティック・トランスレーターを務め、岡山芸術交流 2016、2022 に続き、岡山芸術交流 2025 にもアーティストとして参加。



6 備考

岡山芸術交流は岡山城・岡山後楽園周辺の歴史・文化施設等を会場に、2016年から3年に1度開催している国際現代美術展です。

WEB : <https://www.okayamaartsummit.jp/2025/>



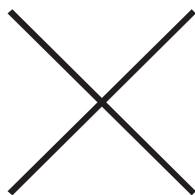
【問い合わせ先】

文化振興課 松谷・藤野 直通086-221-0033

岡山芸術交流連携プログラム トークイベント

脳科学者

中野信子



美術家

島袋道浩

「わからない」を楽しむ —生きていくためのアート—

現代のアートはわからない、むずかしいという声をよく聞きますが、そもそもアートはわかる必要のあるものなのでしょうか？私たちは日々、正解や効率を求められながら生きています。しかし人類は「わからないもの」と出会うことで想像力を働かせ、新しい視点や価値、文明を生み出してきました。

脳科学者の中野信子氏と美術家の島袋道浩氏が「わからないアート」の楽しみ方や、人々が生きていく中でアートが果たす役割や重要性について語ります。

2026. 3. 23 | 月 18:00—
岡山国際交流センター

17:30 受付開始 / 18:00 トーク開始 / 19:30 終了予定

ゲスト：中野信子（脳科学者・評論家・医学博士）、島袋道浩（美術家）

会場：岡山国際交流センター2階 国際会議場（岡山市北区奉還町2-2-1）

主催：岡山市 参加費：無料 定員：200名（申込先着順）

対象：岡山市内在住の方、または市内在勤・在学の方

※小学生以上 ※小・中学生は保護者同伴

申込方法：右記の二次元コードを読み取り、申込フォームよりお申し込みください。

※お申し込みの際は、フォーム内に記載の留意事項をご確認のうえお申し込みください。

お問い合わせ

応募（申し込み）に関して：086-803-8237（株）山陽新聞事業社

トークイベントに関して：086-221-0033 岡山市スポーツ文化局 文化振興課

（岡山芸術交流実行委員会事務局）



中野信子（なかの・のぶこ）脳科学者・評論家・医学博士

1975年東京都出身。東京大学工学部応用化学科を卒業後、同大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻博士課程を修了。現在、東日本国際大学教授、京都芸術大学客員教授を務める。脳科学を専門とし、人間の感情や意思決定、社会的行動に関する知見を、研究・執筆・メディア出演などを通じて幅広く発信してきた。近年は科学と芸術の接点に関心を深め、東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科博士後期課程にて科学とアートの関係性を研究し、2023年に修了。2022年以降は、脳波などの生体データを用いた表現や展示の可能性にも取り組み、展覧会の企画・キュレーションを通じて、知覚や創造性を横断的に問い直す実践を展開している。

島袋道浩（しまぶく・みちひろ）美術家

1969年神戸市出身。現在は那覇市を拠点に世界各地で活動。1992年サン・フランシスコ美術大学卒業。在学中より国内外の多くの場所を旅し、その場所やそこに生きる人々の生活や文化、新しいコミュニケーションのあり方に関する映像、彫刻、インスタレーション作品などを制作。その作品は時に生き物と人間との関係にも及ぶ。詩情とユーモアに溢れながらもメタフォルカルに人々を触発するような作風は世界的な評価を得ている。ドイツ・ブラウンシュweig芸術大学HBK客員教授、チューリッヒ芸術大学ZHdK客員講師などを歴任。現在、京都芸術大学客員教授。岡山芸術交流2025では新設されたアーティスティック・トランスレーターを務め、岡山芸術交流2016、2022に続き、岡山芸術交流2025にもアーティストとして参加。



©Nobuko Nakano/Designstudio



Photo by Masayo Matsuda